

海津市 議会だより

第55号
2018.11



海津市マスコットキャラクター
かいづっち

伝統のボール運動 (城山小学校)

第3回定例会

議会構成	… P 2～3
本会議	… P 3～4
常任委員会	… P 4
決算特別委員会	… P 4～5
本会議（最終日）	… P 5
一般質問	… P 6～10
委員会視察	… P 11
議員研修	… P 12
議会活動日誌	… P 12

お知らせ

第4回定例会は12月5日から14日の予定で、6日に一般質問があります。

詳細については、議会ホームページをご覧ください。
<http://www.city.kaizu.lg.jp>

発行/ 海津市議会

TEL:0584-53-1110
FAX:0584-53-1754

2018年11月1日発行

新しい議会構成決まる

第3回定例会

第3回定例会は9月5日に開会し、9月25日に最終日を迎えた。各常任委員会及び決算特別委員会に付託された議案は、すべて原案のとおり可決、認定した。議長選挙、副議長選挙を行った後、議員発議で追加上程した議案を可決した。



副議長
伊藤 誠



議長
赤尾 俊春

議長就任あいさつ

この度第3回定例会におきまして議長を拝命いたしました。浅学非才な私ではありますが

身に余る光栄に存じますとともに、責任の重大さを感じております。

本市を取り巻く環境は厳しい状況下にあります。

全国的な問題ですが、人口減少・少子高齢化が急速に進んでいます。

本市も、県内では人口減少率が大きく、人口問題は、喫緊の課題として議論・対策を実施しなければ、自治体の存亡にかかわる問題と感じてい

ます。

この地域の特性に合わせて観光振興や地域資源を最大限活用し、産業振興につながる、施策の議論を重ね、次世代につなげていきたいと考えています。

議会役割は、いまさら申し上げるまでもなく、自治体の意思決定や執行機関の、監視・評価と共に、政策調整・立案機能も有しています。

市民の皆様のご代表として、ご意見に耳を傾け、議論を重ね本市の発展につなげるため、一生懸命頑張る所存でございます。今後ともご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。就任のごあいさついたします。

(◎委員長、○副委員長)

議会運営委員

◎水谷 武博 ○松岡 唯史
川瀬 厚美 浅井まゆみ
伊藤 誠 伊藤 久恵
里雄 淳意

南濃衛生施設利用事務組合議会議員

松岡 唯史 飯田 洋
藤田 敏彦

広報編集委員

◎二ノ宮一貴 ○松岡 唯史
松田 芳明 伊藤 久恵
里雄 淳意 赤尾 俊春

議会改革検討委員

◎橋本 武夫 ○二ノ宮一貴
川瀬 厚美 浅井まゆみ
伊藤 誠 里雄 淳意
松岡 唯史

常任委員会

文教福祉委員(7人)



副委員長
伊藤久恵
幸福実現党



委員長
浅井まゆみ
海津市議会公明党



飯田 洋
政和会・清流くらぶ



藤田敏彦
市民の声



水谷武博
政和会・清流くらぶ



橋本武夫
政和会・清流くらぶ



六鹿正規
民の風

総務産業建設委員(8人)



副委員長
里雄淳意
政和会・清流くらぶ



委員長
川瀬厚美
市民の声



松田芳明



伊藤 誠
政和会・清流くらぶ



服部 寿
政和会・清流くらぶ



赤尾俊春



二ノ宮一貴
for かいづ



松岡唯史
日本共産党

第3回定例会

初日(9/5)

第3回定例会を開会し、

会期を25日までとした。初

日は提出案件のうち報告案

件6件、人事案件2件、補

正予算案件5件、条例案件

1件、その他の案件3件、

決算認定案件14件は各委員

会に付託した。

〈報告〉

○土地開発基金の運用状況

に関する書類の提出

○専決処分の報告

損害賠償4件

○専決処分の承認

一般会計補正予算

〈人事〉

○人権擁護委員の推薦

任期満了により、水谷敬

子氏に代わり伊藤善夫氏、

片野規子氏に代わり伊藤優

子氏を委員に適任と答申。

〈補正予算〉

○一般会計補正予算

3億767万7千円を追

加。

○国民保険特別会計補正予算
70万2千円を追加。

○介護保険特別会計補正予算
1億7万8千円を追加。

○後期高齢者医療特別会計補正予算
1503万7千円を追加。

○下水道事業特別会計補正予算
一括納付報償金39万円、

今尾浄化センター工事請負費432万円、高田・西島

浄化センター修繕工事請負費2851万2千円、長寿

命化計画対策実施管渠等更新工事請負費602万7千

円、志津浄化センター工事請負費263万7千円を追

加。

○税条例等の一部改正
たばこ税の税率改正、加熱式たばこの課税区分の創

設及び住民税の基礎控除の引き上げなどについて条例の一部改正。

〈その他〉

○区域外道路の認定の承諾
羽島市が本市の区域内に

において市道の路線を認定することを承諾。

○下水道事業特別会計への繰入変更
一般会計からの繰入額を変更。

○水道事業会計未処分利益剰余金の処分
水道事業会計決算に伴う未処分利益剰余金の処分。

〈決算認定〉

平成29年度の一般会計等14件の決算認定について決算特別委員会に付託した。

常任委員会 報告

各常任委員会に付託された議案を審査し、最終日にそれぞれ委員会報告をした。

総務産業建設

9月10日

〈付託案件〉

- 一般会計補正予算
- 下水道事業特別会計補正予算

○税条例等の一部改正

○区域外道路の認定の承諾

○下水道事業特別会計への繰入変更

○水道事業会計未処分利益剰余金の処分

〈主な質疑〉

○一般会計補正予算

○アクセス道路整備費用が、当初予算措置額に比べて金額が減っているのでは。

○当初予算額は減っており、補正額の1億857万円は翌年度執行予定額を前倒している。

○アクセス道路整備工事は、いつから始まるのか。

○工事開始は、本年11月、12月頃と予測している。

○駒野工業団地整備に必要な土砂搬入量は、どのくらいか。また、道路を完成させてから土砂を搬入するのか。

○現在の仮置き土砂量は約17万㎡で計画では今後必要になるのは、15万㎡。まず、道路工事を行い、土の移動等作業を行った後に仕上げの道路工事をする。

○新規就農者経営安定支援

事業費補助金の詳細は。

○新規就農5年以上10年未満の花き生産認定農業者への被覆資材に係る更新費用。

○畜舎防疫設備整備事業補助金の詳細は。

○畜舎の隣に造る門型の施設で、作業車両が下を通ると光電センサーで感知し、薬剤を自動散布する。本市では、初めての導入。

○下水道事業特別会計補正予算

○高田・西島浄化センターが落雷被害で停電したが、避雷針設備はあるのか。また、保険の対象となる設備と、その金額はいくらか。

○下水道施設は平屋の低い建物で避雷針はないが、今後の事もあるので、再検討したい。保険対象設備は、真空ステーション制御盤・外灯・非常用発電機等で、金額は2851万2千円。

文教福祉

9月11日

〈付託案件〉

○一般会計補正予算

○国民健康保険特別会計補正予算

○介護保険特別会計補正予算

○後期高齢者医療特別会計補正予算

〈主な質疑〉

○一般会計補正予算

○小学校の遊具で修繕・撤去する数と残す基準は。

○撤去は10校で31基、更新は6基、修繕は10基。残す遊具は、各小学校4基を基準。(学校の要望を踏まえる)

○日新・平田中の教材タブレット購入各12台は、昨年度購入の城南中41台の水準に合わせるためか。

○そのとおりであり、少しでも教育環境整備を進めるため購入する。

○下多度幼稚園解体後の跡地利用は考えているか。

○小学校からの要望があり、駐車場として利用予定。

決算特別 委員会報告

9月18日・19日

《委員》 委員長 副委員長

伊藤 誠 橋本 武夫

浅井まゆみ 松田 芳明

伊藤 久恵 里雄 淳意

松岡 唯史 二ノ宮一貴

〈付託案件〉

◆平成29年度「一般会計」等の14件の決算の認定

〈主な質疑〉

○ストレスチェック委託料の支出内容は。

○市職員661人が受検。高ストレス者62人との結果。うち4人がドクターの面談を受けた。

○結婚新生活支援事業費補助金の額が一件24万円とは少なすぎないか。

○24万円は、国・県の要領・要綱に沿っている。当初5件分の予算計上をしていたが、補助要件(年齢・所得)に合致しなかったため、該当一件。

○チャイルドシート購入補助金35万3900円の内訳

- は。
- A** 購入代金の3分の1・上限5千円という要件での、77件分の補助額。
- Q** 一般廃棄物最終処分場残容量調査の結果報告は。
- A** 福江処分場約4・2万㎡、78・2%が搬入可能。今尾処分場約1・1万㎡、43・5%が搬入可能。戸田処分場約0・2万㎡、7・1%が搬入可能。
- Q** 生活保護費・扶助費の不用品2800万円の要因は。
- A** 対象者の減による。平成29年度当初85世帯97人。平成29年度末83世帯94人。
- Q** 介護老人福祉施設事業デザインサービスセンター特別会計で平成29年度に介護士・看護師が一人ずつ減となっているが、現状は。
- A** 現在、介護士は2人募集し5月と7月に2人補充済み。看護師1人は募集中。
- Q** 市内観光ツアー造成補助金の成果は。
- A** 30件の申請中、実績として27件124万円。バス96台、実績人数3150人。
- Q** 商工業振興費・活性化事業

業補助金として夏祭り実行委員会に400万円の補助をしているが費用対効果は。

A そのような調査研究はされていないので、実行委員会に進言する。

Q クレール平田運営特別会計のリニューアル工事等の詳細は。

A 平成28年度地方創生交付金で2分の1の補助を受け、平成29年度に工事費等9950万円で繰越明許として実施。工事等のため直売場3カ月・レストラン4カ月の休業のため来客数・売り上げは前年と比較し減少した。

最終日(9/25)

25日に定例会を再開した。各常任委員会に付託した9議案の審査結果の報告があり、討論を行い、議案9件のうち8件は全会一致で、他1件は賛成多数で、原案のとおり可決した。

次に、決算特別委員会に付託された認定14件の報告

があり、全会一致で認定された。

また、議会改革検討委員会要綱の制定について議員発議がされ、全会一致で原案のとおり可決した。なお、提出者は伊藤誠議員、賛成者は六鹿正規議員、橋本武夫議員。提出理由は、議会の活性化、効率・効果的な議会運営に資する改革に関する事項等の協議および検討を行う組織として、議会改革検討委員会を設置するためである。

(採決で賛否の分かれたものを下段一覧表に掲載)

討論

議案第51号 一般会計補正予算(第3号)

反対 松岡 唯史議員

反対理由は、駒野工業団地関連事業におけるアクセス道路整備工事請負費等が含まれているからである。

今回の補正予算は、来年度予定のアクセス道路整備工事費を前倒しするもので、今回補正予算を組む方が、国庫補助金が多く下りるた

めであるとのこと。

しかし、同事業の計画概要によると、事業目的は「市民の雇用の場の創出」、「自主財源の増大を図ること」であるが、どんな企業が来るか分からないとの理由から、現在まで事業効果を示していない。

同事業の本市負担額は3億5千万円であり、一部が合併特例債や国庫補助金であることを勘案しても、今回の補正予算と当初予算で約1億円の負担となる。こうした多額の予算を注ぎ込む事業だからこそ、市民へのより丁寧な説明が求められるのではないか。

これまでの進め方の妥当性や同事業の費用対効果の検証・検討をしたうえで、具体的かつ合理性のある説明を求め、反対する。

ただし、飯田議長は採決に加わりません。

○賛否一覧表(賛否の分かれた事件のみ掲載しています)

議案名	議決結果	政和会・清流くらぶ						市民の声		海津市議会公明党	民の風	幸福実現党	日本共産党	f o r かいづ	会派に属さない議員
		水谷 武博	伊藤 誠	赤尾 俊春	橋本 武夫	服部 寿	里雄 淳意	川瀬 厚美	藤田 敏彦						
9/25 議案第51号 一般会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○



松田芳明議員

消防団編成について 今後も15分団編成を続けていく



動画視聴

●消防団の現状①各分団毎の充足率は。②消防団の編成はいつ行われたか。③平成30年5月に他県で「活動していない消防団員に報酬」という報道があったが本市は大丈夫か。

●A市長 ①高須北(89%)、高須南(93%)、吉里(95%)、東江(95%)、大江(100%)、西江(117%)、今尾東(114%)、今尾西(116%)、海西(124%)、下多度(52%)、城山北(50%)、城山南(104%)、石津北(96%)、石津西(58%)、石津南(103%)、②平成22年4月から現在の15分団編成に。③本市では不正行為はない。団員個人の通帳に振り込んでいます。

●人暮らしの高齢者」数の推移は。②「一人暮らしの高齢者」の安否確認のための施策は。③直近3年間の高齢者人口に対する「高齢者サロン」への参加者の割合は。④若い世代への「認知症高齢者」についての理解を深める施策は。

●A市長 ①平成26年(964人)、平成27年(1020人)、平成28年(1101人)、平成29年(1179人)、平成30年(1246人) ②緊急通報システム事業、高齢者見守りネットワーク事業、民生委員・在宅介護支援センター職員による巡回相談③平成27年度10.2%、平成28年度10.2%、平成29年度11.1%④平成20年度から海津明誠高校で、平成29年度からは市内

の全小学校で「認知症サポーター養成講座」を実施している。小学生には全国共通の「オレンジリング」と共に、市独自の「ロバ隊長」手作りマスコットと認定証を渡して理解を深めている。

●通学時の小・中学生の安心・安全①大阪北部地震を契機に通学路の点検が行われたが、今後の対応は。②小学生の低学年の重いランドセルに対する対応は。

●A教育長 ①建築基準法担当部局と共に善処する。②教科書の大判化・ページ数の増加によって重くなっている。各小学校で持ち帰る物と学校に置くことのできる物を決めて対応している。

●目標人口平成38年度3万3千人は、達成できるか。

●A市長 日本全体の人口が減少に転じている中で、人口減少に歯止めをかけることは困難だ。今、県と一緒に儲かる農業に取り組んでいただける若者を確保するため、本市のPRに東京に出かけた。

●若者の流出が止まらない本市には、新たな転入者が増えないとは思わないか。

●A市長 高須町で住宅地が開発され、そこに9軒、若い世代も住むようになった。

●このままでは、人口が厳しくなる。若者が市外で働くことも自由だが、市内から通勤できる環境を整えることが大切。

●A市長 現在も愛知県には、バスは走っては

いない。しかし、最寄りの駅まで車で行き、通勤している。養老鉄道で桑名、名古屋。岐阜羽島から名古屋。今後お願いしたい。

●将来の本市が健全な市であり続けるためには、人の流れを変える必要があるのでは。

●A市長 高須輪中は、ほとんど農地。したがって、倍儲かる農業をやるうと思いい、東京の方へ若い人たちを呼びに行っている。

●人の流出を止める、人の流れを変えるためにも市独自のバス路線が必要ではないか。市民アンケートを行って

●A市民環境部長 まちづくりを併せ、この問題に取り組んでいきたい。

●第2次総合計画の中学校の統合について

●第2次総合計画の中で掲げている市の人口が3万3千人になったとき、小学生の人数予測は。

●A教育長 1560人くらい。現在よりも500人ほどの減少を予測。

●小学校統合について、市民アンケートを実施してはどうか。

●A教育長 昨年、学校の統廃合を検討する際の条件の一つであった複式学級の編成が懸念されたとき「小中学校の適正規模等に関する検討委員会」を設置した。今後、アンケートを実施しアンケート結果を分析し、検討委員会で小学校の規模及び配置の適正化に関する基本的な考え方を議論していただく。

第2次総合計画について 総合的なまちづくりを推進し 人口減少の抑制に努める



動画視聴

六鹿正規議員
(民の風)



橋本武夫議員
(政和会・清流くらぶ)

災害時のペット対策は ガイドラインに沿い、 周知を図っていく



動画視聴

③ 災害時に、ペットを同行避難することが重要視されている。ペットの同行避難訓練を実施したことは。

④ 市長 市主催の避難訓練では、実施した例はない。ペットの同行避難に対応するという意識が高くないのが現状。今後、訓練を実施する団体等に対して、ペット受け入れ訓練を実施していただくよう働きかけをしていく。

⑤ 避難所運営における事前のペット対策は。

⑥ 市長 本市の「避難所運営ガイドライン」で、ペットスペースの設置や飼養ルールなどを決めているので、周知を図っていく。

⑦ 飼い主への支援体制、負傷動物などの救護体制の整備は。

⑧ 市長 県が、県獣医師会と協定を締結して

いる。市の依頼に基づき、県が必要と判断した場合、被災動物の救護所及び診療施設が設置される。

災害派遣トイレプロジェクトについて

③ 災害時のトイレ対策は大変重要。公益社団法人助けあいジャパンが推進する災害派遣トイレプロジェクト「みんな元気になるトイレ」に参加しては。

④ 市長 災害時のトイレの確保・管理は重要な問題と認識している。プロジェクトの趣旨は共鳴できるが、すべてを寄付金で賄えるものではなく、今後、他市町の動向を見守る。

パラリンピック教育について

③ パラリンピックは共生社会を実現するため

のヒントが詰まった大会である。国際パラリンピック公認教材「I'm POSSIBLE」を活用し、パラリンピック教育に取り組んではどうか。

④ 教育長 パラリンピックは、人々の多様性を認め個々の力を発揮し活躍できる公正な場として、競技者にとっ

てはもちろん、それを応援するすべての人々にとって共生社会の在り方を学ぶことのできる、大きな教育的価値があると考えている。「I'm POSSIBLE」については、各学校で活用方法の検討を始めたところである。大江小学校はオリ



松岡唯史議員
(日本共産党)

移住者へ家賃補助制度の創設を 先進地の事例を参考に検討する



動画視聴

創設を検討する。

災害時の避難について

③ 本市ではここ数年、転出人口が転入人口を年間2〜300人程上回っている。人口減少はくらしに大きな影響を与える。できることを一つずつやってみることも必要では。そこで、移住者への家賃補助制度と起業支援金の創設を提案する。

④ 市長 単身若年層への支援対策として、今年4月から運用している定住促進住宅は家賃も近隣相場より低く、活用したい。同時に、家賃補助制度は有効な手段であり、先進地の事例を参考に調査・研究・検討する。また、起業支援金制度は一つの動機づけとなり、移住定住対策や新たな雇用の創出にも有効と考える。移住者に限らず、起業家への更なる支援策として起業支援金の

③ 平成30年7月豪雨では、高齢者が集中的に被害に遭われた。高齢者はパソコンやスマホを持っていない方が多く、また大雨時は防災無線が聞こえにくいと思う。高齢者への災害避難情報の伝達や避難誘導をどうするのか。

④ 市長 広報無線専用ダイヤルのフリーダイヤルやテレドームで、防災行政無線の情報を受け取れる。また、市メール配信サービスもある。補完的にテレビ・ラジオなどで情報収集する等周知している。

⑤ 愛媛県大洲市では、今回の豪雨で川が氾濫

し3千戸浸水したが死者はゼロだった。要因の一つは、ハザードマップを基に地区独自の避難マップを作成し、災害避難カードも用意していたからとのこと。この事例を参考に、避難マップや災害避難カードを本市が作成し、地域に配布できないか。

⑥ 危機管理監 出前講座の際に相談してほしい。

⑦ 内閣府の備蓄目標数と比べてかなり不足している携帯トイレの補充を求める。また、避難生活の長期化を想定し、快適な車載トイレ等の補充もすべきではないが、相互応援や仮設トイレで対応したい。また、民間企業がトイレカーを多く持ち、現場に集結してもらえばと期待する。



伊藤 誠議員
(政和会・清流くらぶ)

相続登記の啓発を 法整備に合わせ関係機関と 連携する



動画視聴

近年、地方から人が減り地価の下落傾向が続く中、土地の所有者不明化問題が叫ばれている。この問題が、公共事業用地の取得や災害復旧、また、農地の集約化や耕作放棄地の解消などを進める上で支障となる事例が各地で報告されている。

◎**土地の所有者不明化問題**に関して現在取り組んでいる対策は。

◎**これまで土地の所有者が特定できないこと**によって問題が生じたことがあるか。今後新たにどんな問題が生じると予想されるか。

◎**相続登記の啓発が重要**と思うが、市の方針は。

◎**今後の対策として**、相続登記の啓発が重要と思うが、市の方針は。

◎**死亡者課税比率の把握は困難だが、今後の増減予想は。**

◎**平成29年3月12日に改定新免許制度が施行された**。従前は、普通免許で5t、中型免許で11t、その上は大型免許の車両重量まで運転可能であった。新制度では、最大積載量2t、車両総重量3・5t以下になった。現行消防団のポンプ車は、最大積載量が2tを超えた為、普通免許では運転が不可能になった。新型消防ポンプ（普通免許対応型車）へ車両を順次交換するの。

◎**また、新制度では、中型免許の間に準中型免許が加入された**。普通免許を取得していないから準中型免許を取得するに、自動車学校の教習時限42時限が必要である。

◎**新規の団員の加入のために教習料を補助してはどうか。**

◎**今後、消防団活動において準中型免許の取得者が不足し、消防ポンプ自動車の運用に支障が出るような事態になれば、免許取得、限定解除等の補助金の創設及び改定普通免許で**

◎**運転可能な消防車両への更新等について検討したい。**

◎**なお、消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例では、消防団員の資格要件として、**



藤田 俊彦議員
(市民の声)

自動車改定免許制度にどう対応するか（消防ポンプ自動車） 消防団車両の更新時に検討していく



動画視聴

◎**現状の消防団車両で改定免許制度での普通免許で運転できない車両は、可搬ポンプを積載した普通積載車両や軽積載車両36台を除く、消防ポンプ自動車13台である。準中型免許が必要な団員が誤って運転することがないよう、早急に団員に改定免許制度を周知する。また、車庫内や車両内の目につく所に注意喚起する文章を掲示して対応していく。**

◎**今後、消防団活動において準中型免許の取得者が不足し、消防ポンプ自動車の運用に支障が出るような事態になれば、免許取得、限定解除等の補助金の創設及び改定普通免許で**

◎**運転可能な消防車両への更新等について検討したい。**

◎**なお、消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例では、消防団員の資格要件として、**

◎**「当該消防団の区域内に居住し、または勤務する者、年齢20歳以上の者、ただし保護者の同意がある場合は18歳以上とする、志操堅固で、かつ身体強健な者」と定めており、運転免許の取得条件は、資格要件としての規定はない。**

◎**消防ポンプ自動車**



消防ポンプ自動車



川瀬厚美議員
(市民の声)

副市長の 一般公募について

●本市が誕生して早13年半、人口は6千人減り、それに伴い税収も減り市民生活に影響を及ぼす。今、必要なことは本市の持つ歴史、文化、景観、産物等資源を活かす力、企業経営の目も必要と考える。

●来々3月副市長の任期と聞くが、アドバイスができる人を広く一般公募しては。

●市長 近年、行政事務が多岐にわたり増大する中、副市長の地方公共団体における役割と責任は非常に重要である。行政課題を円滑に解決するため、地方行政に精通し、渉外に優れた方が必要である。

●副市長を一般公募している自治体はあるが、私としては、第2次総合計画に掲げる「水と

副市長を一般公募しては今のところその考えはない
名古屋城石垣サミットを呼びかけては今後の進展を見た上で検討する



動画視聴

名古屋城石垣 サミットについて

●尾張、高須藩の関係から本年も大江、東江小の児童らが名古屋城夏祭りに招待された。石垣には、河戸石をはじめ南濃の石が多く使われ、関わった武将の家紋石が本市歴史民俗資料館の前に並び、思えることは、当時石を採掘した市町が集い、名古屋城を含めた経済発展を話す「名古屋城石垣サミット」を本市から呼びかけては。

●市長 名古屋城の石垣に本市の河戸石が多数使用されていること



河戸石はじめ南濃の山の石が使われている名古屋城

は明らかで、名古屋城築城の際、各大名が各地から石を調達して刻印を付して使用したことが知られている。名古屋城は、東海地区屈指の歴史的シンボルであり、高須藩と尾張藩のつながりからその存在は大変意義深い。また、石垣に使用された石材の産地を観光資源とする取り組みも一部で行われている。

●ただ、名古屋城の木造天守閣再建は、文化財保護の観点から議論中なので、今後の進展を見た上で、しかるべき方策を検討したい。



二ノ宮一貴議員
(for かいつ)

野球場の今後の整備計画は限られた予算の中で、できる範囲で検討する



動画視聴

市内野球場は、海津グラウンド(以下、グラウンドII)・平田G・南濃G・南濃南部G・養南Gの5カ所あり、このうち、夜間照明設備を備えているのは、海津G・平田G・南濃Gの3カ所ある。

●各野球場とも、野球・ソフトボールはもちろん、スポーツ以外のイベント等でも、市内外を問わず、多くの方々が利用する重要な施設である。

●しかし、運用開始から、かなりの年数が経過しており、グラウンドや設備の状態が良くない野球場がある。

●雨が降りグラウンドに水の流れができ、雨が上がると凹凸が残ってしまふ。これは、土の入れ替えが行われていないことによる排水能力の問題ではないか。

また、夜間照明利用時に、グラウンド内に暗い場所が点在し、プレーに影響が生じる場合がある。

●毎年、自主的にグラウンド全体の整備を行っている団体もあり、利用者自身もできる限りの協力をしている。

●こうした状況から、早急に点検・整備が必要であると考える。

●グラウンドの点検、土の入れ替え、夜間照明設備の整備に基準はあるか。

●教育長 グラウンドの点検・土の入れ替え等の整備に基準がなく、不陸がある等の申し出があった場合、状況を確認し、修繕等が必要と判断した場合は、予算の範囲内で対応している。夜間照明設備については、球切れが全野球場合わせて、10球

前後になったら工事発注をしている。

●本年度に行われる整備、来年度以降の整備計画はあるか。

●教育長 本年度、来年度ともに現段階ではない。夜間照明設備については、水銀灯が2020年で生産中止となるので、他施設も含め計画的にLED化への移行を行っていく。

●今後の整備計画についての考えは。

●教育長 市民のためのスポーツ振興は、健康づくり、市民同士の交流等、多くの効果も期待できるので、色々な面で推進を図ってきたい。整備計画はないが、各施設の日常的な状況を把握し、限られた予算の中で、できる範囲でやれるように検討する。



里雄淳意議員
(政和会・清流くらぶ)

育休退園の廃止を 人口減少及び少子化対策として 前向きに検討する



動画視聴

現在、本市では0歳から2歳児の第一子が子ども園の保育部を利用している保護者が第二子を出産し育児休業を取得した場合、国の定める「保育を必要とする事由」に当てはまらなければ第一子を退園させなければならない。これがいわゆる育休退園である。核家族化が進み、地域の共同体のつながりが希薄になっていく現代社会において、生まれたばかりと3歳児未満の子どもの2人の面倒をみるということの負担の大きさは容易に想像できる。また何よりも突然子ども園を退園させられる子どものことを一番に考えるべき。

多様な子育て支援を目指し平成27年に施行がスタートした「子ども・子育て支援新制

度」に基づき、各自治体が主体となって保育方針を決定できると了解している。そこで本市においては育休取得による強制的な退園を改善すべきではないかと考える。もちろん、自身のご家庭での子育てを望む方もあると思うので、子ども園の継続利用と退園を選択できるような方途を考えるべき。

た。また、平成27年から認定こども園幼稚園の対象児童を4～5歳児から3～5歳児とし、3年保育へ拡大。3歳未満児は年度末には50%を超える子どもが認定こども園保育部へ入所。

②育休退園の対象となつた子どもは7人で、退園者は3人。保護者の方には「子ども・子育て支援新制度」の施行規則を説明し納得していただいている。

③人口減少及び少子化対策として前向きに検討する。

時代が急激に変化していくなかで子育てしやすい環境を、社会で整えていくということが非常に大事なことです。子育て支援の更なる充実を願う。

③育休退園の廃止はできないか。

A 教育長

①今年4月1日より下多度幼稚園を廃止し、公立の海西保育園・西島保育園を民営化し、市内全12園が認定こども園となつ

た。また、平成27年から認定こども園幼稚園の対象児童を4～5歳児から3～5歳児とし、3年保育へ拡大。3歳未満児は年度末には50%を超える子どもが認定こども園保育部へ入所。

②育休退園の対象となつた子どもは7人で、退園者は3人。保護者の方には「子ども・子育て支援新制度」の施行規則を説明し納得していただいている。

大阪北部での地震により、ブロック塀が倒壊し、女子児童が亡くなるという痛ましい事故が発生したことを受け、その後の対応を伺う。

①安全性に問題のあるブロック塀等の工事着手までの間の安全確保は。

②「学校防災マニュアル」に基づき改めて通学路を確認すべきでは。

③安全性に問題のある通学路の対策は。

④通学路に面している民間のブロック塀等の撤去費用を支援する考えは。

③育休退園の廃止はできないか。

A 教育長

①トラロープやバリケード等により現場周辺を立ち入り禁止とし安全確保を図り、改修、撤去工事を実施した。

②防災マニュアルに従い、通学時に地震が発生した際の避難方法や



城山小学校第3運動場のブロック塀

通学路周辺の避難場所の確認等を改めて指導するよう学校に指示し、マニュアルの見直しの検討も依頼した。

③保護者等と相談しながら通学路を一部変更するなどの対応をとっていく。

A 市長 ④ブロック塀の撤去にかかわる支援制度を創設する準備を進めている。

小中学生の通学時の荷物の重さの問題について

成長期の小中学生が10kg近くの重い荷物を持ちながら通学するのは、体への負担が大きく危険である。実態調査をするなどの対策は。

A 教育長 各学校では家庭学習での必要性も考慮した上で、毎回持ち帰る必要のあるものと、学校に置くことのできるものをルールとして決めており、中学校の場合には資料集、美術や保健体育などの一部の教科書は学校に置いてよいルールとしている。自転車通学生徒には荷物を荷台に固定する等の指導もしている。

各教科担当が十分に配慮しつつ柔軟なルールの検討をするよう指導していく。

③育休退園の廃止はできないか。

総務産業建設 委員会視察報告

研修日 7月2・3日
委員長 橋本 武夫

◇目的地 埼玉県杉戸町

○議会自主解散について

平成27年5月、選挙日程

の近い県知事選挙に併せて町議会議員選挙を執行できないかという考えが議会内に浮上。同時選挙により経費節減や投票者の利便性などの効果も鑑み、平成27年7月、解散特例法を用いた議会の「自主解散」を全会一致で決議した。選挙執行経費の節減額は約630万円であった。任期満了日の近い選挙を同時に行うための自主解散であり、比較的短時間で議会の合意が形成できたと考えられるが、細心の注意を払って、慎重に協議する必要があると考える。

○議会基本条例について

開かれた議会を目指し、議会改革の一環として議会

基本条例の制定に取り組むため、平成25年5月に「議会基本条例策定特別委員会」を設置。20回の協議・検討の末、平成27年3月、条例を制定した。本市においても、議会のあり方や基本的事項、議員の使命などを定める条例の制定が必要と考える。

◇目的地 群馬県甘楽町

○観光振興について

(一社)甘楽町都市農村交流協会が道の駅甘楽や甘楽ふるさと館の管理運営などを行っている。甘楽ふるさと館は都市と農村を結ぶ交流拠点施設の役割を担っており、こんにゃく作り、そば打ち、いも掘りなどの農村体験を実施し、地域活性化や町のイメージアップに貢献している。

○定住に向けた取り組みについて

町内で新たに住宅を取得した者に応援金を交付する制度を平成22年度実施し、これまでに年平均56件、一件平均7万円の交付実績が

ある。

「空き家バンク」制度を設けたり、移住者のためのガイドブックを発行するなどの取り組みを実施している。本市と似た環境の町の取り組みは参考になるものも多く、有意義な研修になった。

文教福祉委員会 視察報告

研修日 7月4・5日
委員長 川瀬 厚美

◇目的地 香川県高松市

○高齢者居場所づくり事業

高松市は人口約42万人。77歳に配布していた長寿祝い金を廃止し事業に充てた。居場所とは、高齢者が集い介護予防や健康増進、ボランティア、地域活動となる場。

目的は、高齢者が社会と接点をなくし孤立することなどを防ぐ。300カ所を目指す、現在238カ所。

参加者は、高齢者人口に対し5%と低く課題。

内容は、多世代で収穫活動、グラウンドゴルフ、餅つきなど多岐に渡り、「のびのび元気体操」を広める。狙いは良い。今や核家族化が進み、高齢者は寂しく暮らし、若い世代は子育てに悩み、ストレスから我が子を虐待まで。昔は、3世代家庭は普通。年寄りをいたわり、知恵を授かった。高松市は、平成26年から市全体で昔の家庭の姿、多世代交流の場を進めている。見習うべき政策である。

多世代で収穫活動、グラウンドゴルフ、餅つき



◇目的地

岡山県立倉敷天城中学校

○県立中高一貫校

本市には、唯一の県立高校があるが定員割れが続く、この先閉校の可能性を含む市として「重大な問題」との思いで中高一貫校を訪ね

た。

倉敷天城中学校は2学期制、1時限45分で7時限目まで。1年生から3年生まで毎週「サイエンス」の授業を行い、科学的に考える力を高める。更には「グローバル」授業を行い、国際化に対応する。

また、総合的な学習時間として「AMAKI学」。

1年生では「岡山調べ」を通し活躍するプロフェッショナルの話を聞き、世の中の職業を知る。2年生では、職場体験や平和学習を学ぶ。3年生は、課題研究を通して、知識や研究を進め、将来への考えを進める。中高6年間を見通し連続性のある教育は、生徒の学習意欲を高め成果は大きく、全国から注目を集める。「楽しく学ぶ」は、

学校本来の姿であろう。学校の「あり方」が問われる。



議員研修 (一般質問について)

研修日 9月10日

講師に龍谷大学の土山希美枝教授を招き、一般質問について学んだ。

土山教授は「質問力を高める、議会力に活かす」をテーマに、自治体の役割と議会の役割を語り、一般質問は「わがまちの政策・制度の課題」についての争点提起の場であるとして、一般質問の機能を発揮するための2つの課題を挙げた。

また、議員の質問力は総合的な政策形成力であり、政治家としての活動と知見の集約であると説明し、一般質問での議員間連携や一般質問の「その後」の追跡などの提案もあった。

後半は、各議員が一般質問に関する悩み等を土山教授に聞く時間も設けられた。一般質問の構造や具体的な作成方法も学べ、大変有意義であった。

議会 活動日誌

8月

- 2日(木) 平成30年度 全国高等学校総合体育大会 カヌー競技大会開会式
- 5日(日) 第67回岐阜県消防操法大会(郡上市)
- 8日(水) 宝暦治水史蹟保存会薩摩義士墓所参詣
- 11日(土) 薩摩義士追弔会
海津市夏祭り(歴史民俗資料館周辺)
- 13日(月) 議会運営委員会
- 21日(火) 全員協議会
- 29日(水) 議会運営委員会



議員研修の様子

10月

- 1日(月) 議会だより広報編集委員会
- 7日(日) 第23回長川ふれあいマラソン大会
- 11日(木) 議会だより広報編集委員会
海津市戦没者追悼式
- 12日(金) 議会運営委員会
- 17日(水) 議会だより広報編集委員会
- 22日(月) 全員協議会
議会だより広報編集委員会
議会改革検討委員会
第14回海津市老人福祉大会
- 25日(木) 薩摩義士秋季大祭
- 27日(土) 2018海津市産業感謝祭オープニングセレモニー

9月

- 5日(水) 第3回定例会開会
- 6日(木) 第3回定例会再開(一般質問)
- 10日(月) 総務産業建設委員会
議員研修
- 11日(火) 文教福祉委員会
- 15日(土) 第14回全国ボート場所在市町村協議会議長懇話会
(滋賀県大津市)
- 18日(火) 決算特別委員会
- 19日(水) 決算特別委員会
- 25日(火) 議会運営委員会
第3回定例会再開(閉会)

編集後記

秋と言えば…
皆さんは、何を思いつきますか？

私は、スポーツの秋です。
本年は、平昌五輪、大谷翔平選手二刀流メジャー挑戦、サッカード杯、大坂なおみ選手全米オープン優勝など、世界を舞台に日本人選手の活躍がありました。

しかし、一方で、貴乃花親方騒動、日大アメフト部をはじめとするパワハラ騒動など、国内では残念なニュースもありました。

「終わり良ければ全て良し」ではないですが、本年も残り2カ月弱、良い締めくくりをしたいものです。さて、9月末より議会は新体制でスタートしており、広報編集委員会も、新メンバーになりました。限られた予算内での紙面作りとなりますが、どなたにも分かり易く、「海津市議会の今」をお届けしたいと思っております。

「議会だより、良かったよ」

皆さんに、そんな風に言ってもらえるような議会だよりを目指し、邁進いたします。
一年間、よろしく願っています。

広報編集委員会

委員長 二ノ宮一貴
副委員長 松岡唯史
委員 松田芳明
伊藤久恵
里雄淳意
赤尾俊春

市議会の詳しい情報は海津市議会のホームページをご覧ください。

海津市議会

検索